

魅力ある授業のために（単元化例） 言語文化 書くこと

1 単元の目標

- (1) 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解することができる。〔知識及び技能〕 (1)オ
- (2) 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力〕 A(1)イ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	言語文化	学年類型	1年	単位数	2単位	話すこと 聞くこと		
単元名	鹿島神社文学苑を学んで、俳句を詠もう					書くこと	○	
単元の評価規準								
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。		「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。		郷土の風景を俳句に詠む活動を通して、自分の思いが効果的に伝わるよう、粘り強く推敲して表現の工夫をしたり、既習の知識を生かしてよりよい作品にしたりしようとしている。				
主たる言語活動								
俳句の修辞技法などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表す活動。								
時間	授業のねらい・主たる学習活動				重点項目			評価方法
					知	思	態	
1	郷土の句碑に興味をもち、俳句の修辞法を学ぶ。				◎	○		
	①単元の目標を確認し、俳句甲子園の動画を視聴して、学習の見通しをもつ。 ②鹿島神社文学苑の句碑の俳句を詠み、興味をもった俳句を選ぶ。 ③選んだ俳句の句意や季語、切れ字等の修辞技法を調べ、修辞技法の効果について考察し、ワークシートにまとめる。 ④5人のチームをつくり、チーム内で各自が選んだ俳句について、調べたこと、自分の句作に生かしたいことを発表する。 ⑤チームの意見から、更に考えを深めたことについて、ワークシートにまとめる。							
2	郷土の風景を俳句に詠み、推敲する。							
	⑥前時で学んだ修辞技法を踏まえて、郷土の風景を俳句に詠む。 ⑦チーム内で俳句を批評しながら推敲し、よりよい句に仕上げる。							

3	俳句甲子園形式で発表する。		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の確認 (対戦の様子) ・記述の分析 (ワークシート)
	◎俳句甲子園形式で2チームごとに対戦を行う。 ◎振り返りをする。				

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、句の構成や、修辞技法などを工夫している。	郷土の風景を題材に、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、句の構成や、言葉の選択、修辞技法など表現の工夫を凝らした俳句を詠んでいる。	郷土の風景を題材に、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、句の構成や、修辞技法などを工夫した俳句を詠んでいる。	郷土の風景を題材に、自分の体験や思いを俳句に詠んでいる。